（明治四十二年十一月十五日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日之翌日休刊　明治四十四年十月二十四日（火曜日）　第八百一號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

紀元二千五百七十一年
本紙定價（一枚金三錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢）
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料（▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲特別廣告五號活字十…）
料金（七字詰一行金七十五錢）
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話大三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜錄

●宗演師の說教と聽衆（下）

野崎小蟹

然し墮落した佛敎を呼び起さんとの、努力であるならば演者自から大いに修養した事實の結果、此壇上に立て貰ひたいものだと我輩は考へた。

怪養論は宗演師の如く佛敎で解くも佳である、然しあの位の說敎は師を煩はさなくとも、先刻承知の助の人が多からうと確信するのである。

我輩は佛敎をあまりに知らない、然し富嶽に登るにさへ、二方も三方も道があるではないか、昔釋迦が盲目の十人の弟子をして象を探らした時、盲目の一人は足を柱の如くと答へ、牙を石の如し或は脊中を布團の如し、鼻を杵の如しなぞと各自答へを異にしたとの事である、釋迦は大いに悟る所を得たと記してある、諸君よ。我輩は象の如何なるものかを、一見して動物の大なるものと云ふ事が解せられる、然し盲目の釋迦の弟子は、十人十色に辨別したのである。

茲に我輩は思ふ所を云へば、今日の宗演師の說敎も僅かに一端を解いて、責任を脫したやうではなからうか我輩の聽衆の頭腦はさまで、程度の低い方ではなからふと明白に辨ずるのである。

諸君よ、聽衆諸君の中には龍山俱樂部で宗演師の說敎に滿足したものがあるだらうが、あらば我輩は釋迦に此勢は踊さねばならぬと考へる。

我輩は殊に淺學であるが、曾つて方丈記を讀んだ時に、終りの所に釋迦の弟子に自分の名を記憶する事がどうしても出來なかつた二人があつたとしある、其は眞に弟子の超然たる所が佛道のうかがあらゆ名前さへ知らぬ弟子を弟子といつくしんだのが釋迦、釋迦たる所、我輩の要求するは近代的の達觀した佛僧を世に生れせしめたいのであ、うして其偉人に救世をなふのである。（十月十九日稿）

●議政府探勝記（三）

牛風庵

京城へ歸る電車の發車までは六時間の餘裕が有る、一時間一里宛散步すると六里は步けるのだから安心して附近山河の形勢、名勝も探ぐれる譯である、其れで先づ土工のみ出來上り居る線路を一直線に漣川街道を行く事約一里更に方向を右方に轉じ元山街道に出でゝ一帶の地理を探り風景を賞して議政府驛へ引返へしたのが丁度正午だ飮食店に入りて腹を作り更に左方の山中一里許りにして廻龍寺と稱する古刹あり其れより尙一里許り奧に登れば望月寺と云ふ名刹ありとの事を聞き、烟霞の癖又もや油然として起り先づ廻龍寺の勝を探るべく決心した、孤筇を驅りに未知未見の島道を辿り石逕を攀ぢて山に登り一時間にして樹木蒼たる一の溪間に入つた、所謂る廻龍寺は此地に在るのである、外國語學校出身諸士の一團は早く既に到着し本堂に陣取り今正に晝食の眞最中で暈酒山門に溢れ、翩々たる有樣を呈して居る、石塚長官等も遠慮勝ちに椽側に腰打掛けて御座つた、いふた跡も止めず、茲自然なる野趣津々たり、そんじよ其處等の凡助連では鳥渡言ひ得ぬ島からざる想！調取りて以て壓卷とす。

●予が遷師の拙きを耻ぢて
月に供ふ花や蕪雜な摘み摘　丹葉

俳句

●仁川卯月會俳句第九輯（四）

一△題、月さまぐ△…
一千六百二十句中逆列
拔粹上座八十章
彩雲居丹葉撰

人位
岩鼻に月の出かゝる漁村哉　海峯

選者云ふ、鬼界ケ島に於ける俊寬僧都の故事は遠き往昔、今は只津々浦々到る處にある狀景ながら、併し「岩鼻に」と重く置て「月の出かゝる」と輕く言ひ廻したる趣向―イヤ手際頗るおなどり難く、殊に座語の「漁村哉」に調和しくいと愛たし。

地位
怪鳥の聲けたゝまし峯の月　哲舟

選者云ふ「猿なれば猿にしてれけ」とは先哲の至言ながら、偖て訪ふ人だに稀な幽谷深山に於ける鳥叫びの聲、與相穿ち得てけたゝましく、身に泌む斗り澄み渡る、峯の月影と共に冴へたる手腕や物凄し。

天位
小流や鍋の中にも月の澄　竹賀

選者云ふ明皎々たる名の夜の月を、然かも世俗に所謂鍋の中へ入れ込坏け、不調和も不調和＝大不調和なる熟語を「小流れや」と斷つて容易に調和せしめたる大手腕！、天界より降る奇拔は奇拔ながら、偖敢て奇をてらはぬ所に味あり。

外事一束

△討伐軍大輪送十三日より始まる新民屯の一旅團も海路漢口に向ふと云ふ
△革軍二千砲を率ひて漢口に渡り本營を江岸に置き河南及南下軍を受降す
△漢口會戰の序幕十八日黎明江岸停車場砲擊に始まる交戰一時間革軍目的を達せずして中止す猶薩提督及張彪師團長に勸降書を送り且益々戰備す
△袁世凱起ち幕僚を召集す北湖廣總督就任條件として曰く明年國會を開く事叛徒解放の事責任內閣組織黨禁を解くことと北京政府容るの意嚮あり
△列國伊土間の仲裁を斷念し土は報復として伊品關稅十割も平和遼遠なり
△英國來る二十三日埃及併合の擧に出づべしと獨紙報ず此際或は異ならん

梁川庄八（やながはしやうはち）

小金井蘆洲演

第十六回

人々梁川庄八の名を聞いたばかりで、逃出して立向ふ者がない、庄八橋の曳戸を開いて見ると、周防正盛が居ない、是は變だと向を見ると血だらけの儘玉川邊を逃げて行く　庄「巳れ卑怯なり逃るとて逃がしはせぬぞ」と追駈け來り襟髮を引摑み　庄「父の仇倖祿の敵思知つたか……怨の刄受取れよ」と一聲叫んで斬下す刀の下に首はパッタリ落ちたりけり、手早く其首を小脇に抱い込み、仙臺の城下を後にして、川崎村の唱名寺を差して駈出した、只ウロく騷いで居た、藻庭の家來其他の人々迄が、庄八が駈出すと急に跡からワーツと追駈ける、向て來れば逃る逃げれば追驅くと、大概そんな者です、此方は庄八川崎村の唱名寺の門を這入ると墓場へ來て、父の墓碑の前に首級を手向け、大地へ額づいて　庄「偖御父上……御臨終の際に御遺言に背き藻庭を捨置きましたるは、先年梁川家再興の御內意が政宗侯より御座りましたる故、家が立たば父上の御遺言を無に致すやも知れずと御短慮の廉も有之事と控居りましたるに、亦々周防正盛佞辯を以て主君を惑はし家名再興を妨げましたる故、今日彼が首を打斷ましてござる、只今彼が首をお花代りに御墓前へ手向奉りますれば地下に御無念をお散じ下さりまするやふ、南無妙法蓮華經くく」と回向をなして居ります所へ、寺男の知らせに永善和尙驚て其所へ參りました、庄八は怖めず臆せず眼じろまず和尙は　永「今更出來てしまつた事は、致方も御座らんが、老臣を殺して見れば仙臺のお殿樣に於ても其儘には捨置かぬは必定、此上は貴郞は如何遊ばす御考でござるか」庄「然れば親の遺言に甚き父の仇家の敵を討取りましたは俯仰天地に耻ない…併し己れの留意を晴んため、上巳の佳辰の當日御城所柄を憚らず、血汐を以て大手下馬先を汚せしは恐れ多し、此罪だけは是から訴へ出て相當の處分を仰ぐ心得でござる、就ては此の首級ぢやが死者に罪なしの營の通りで、最早一命を申受けたる以上怨みは晴れたによつて、跡懇ろに回向をして戴きたい、大方周防の倅主水首級を申受けに罷越すでござろうから御渡しなすつて下されたい」永「否夫れは一應御尤の樣なれど、是より訴へ出でれば御命が全うしては居られません是より直樣何處へなりとも御立退きが宜しうございます、誰あつて卑怯未練と云者がございませう。徒らに人を殺したのではなし畢竟御父上の仇を討たに相違ないのですから傳兵衞と御相談なすつて何處へなりとも御立退遊ばしませ」庄「イヤく御忠告は辱けなけれども、拙者は是にて日頃の鬱憤を晴したり、唯大手下馬先を汚した罪、舊主君を重んじ名乘つて出るは當然の譯と存じます、若し我一命を惜しさに犯せし罪を負ふて此國を去り、逃げ隱れを致したり杯人に後ろ指を指さるゝは此上もなき耻辱と心得る、唯名こう惜しけれと云ふ古言に則りまして、是より名乘つて訴出でまする、就ては跡々の事は宜しく傳兵衞へ仰傳られ下し置かれるやふに」と云放つて、永善和尙が暫くくと押止めるも聞入れず、振拂つて跡をも見ずに仙臺の城下へ引返しました、大手前の町行事所塞川又右衞門の役宅へ訴出ました、取敢ず奉行塞川又右衞門は取調べを致しますと、大手下馬先を汚せし罪相當の御處分を願ふ、と事の次第を落もなく申立て、潔よく申立ましたから、容易ならぬ大事件迚も一存を以て如何に町奉行でも處刑は出來兼ますから、庄八は最嚴重に止置きまして、即時此事を老職へ協議に及ぶと云事にした、處が、一遍退出致した者迄再び登城をすると云譯で、青葉山城中は鼎の沸くやふな大混亂です、重役達々の面々額を集めて塞川の申立に依て相談、現に角當時伊達家に取つては、一に片倉二に藻庭と云位で當主政宗侯未だ藤五郎と云れた少年時代の幼沖の時より輔弼の大任を勤め、多少橫暴な行爲があつたとしても功勞のある藻庭周防を大手前に殺害を致した庄八、如何なる處刑に宛行て宜しいか、一應君公の御聽に達し然る後の事に相成ました、處へ藻庭周防の息子主水は政宗侯へ歎願致しましたは、梁川庄八は私の爲には不倶戴天の父の仇願はくは私に御引渡し下されまするやふと、願出ました

貧困者に限り一切無料調劑　北嶋藥店

廣告

洋服裁縫弟子至急入用　但し年齡十四五歲
京城明治町六四（電話五九二番）
高岡洋服店

來る十一月三日　秋季素人自轉車大運動會
場所　東大門內訓練院

東亞セメント大樽及小樽
右今回京城龍山一手販賣特約致候に付き多少に不拘御命願上候
鴨綠江營林廠製材及原木
日本板材木販賣
（ト）
京城旭町一丁目
小森材木店
電話長七四四番

改名　㊂商店の御披露
各位益々御清穆奉南山候偖て先般漢陽商會として營業開始仕候處鐘路通りに同一名の歐米雜貨商にて漢陽商會なる店舖有之營業上甚だ面白からざる儀と存じ今回協議の上當店の商號を㊂商店と改め一層確實叮嚀迅速秘密に御用相勤め候間倍舊御愛顧の程奉希上候
追て主任理事者は從前の通りに御座候間既に發行し來りし權利證書類は其儘にて差支無之候間此段爲念申添候　敬白
營業課目　有價證券現物賣買　株式定期　期米取次　信托業
大阪株式取引所仲買加富士商店
大阪米穀取引所仲買大森商店
特約店
京城旭町一丁目廿七番地（歌舞伎座前）
漢陽商會改　山三　㊂商店
電話一七六九番
電信略號（ヤ）

京城北米倉町（婦人病院向側）
注連內齒科醫院
院長　從七位　注連內堅石
電話八一二番

獵銃　獵具　火藥
增戶銃砲店
京城本町六丁目

開店十週年大賣出し
二十三日より三十一日まで
滿十ヶ年紀念として右期間各產地元價にて賣出し申候
京城本町
（上）圓城呉服店
電話一五七番

京城新報

官民意志の阻隔

官憲の反省を促す

凡そ政治なるものは、之れが局に當れる官憲と、之れが爲めに幸福と利益とを享受すべき人民との兩者即ち治者と被治者との存在に因つて、其の實を完ふし得べきものなるは、普通常識ある者の悉く諒解しをれる所にして、然かも、治者たる官憲と被治者たる人民との政治上の關係が最も接近し、治者は被治者に慇懃に、被治者は治者に親しみ、互に其長を採り短を補ふものあつて、政治の進歩發達を見、隨つて國家の隆昌を期待し得可きなり。代議政體といひ、自治制度といひ、輿論の尊重を呼び、人權の擁護を唱ふるも、畢竟治者被治者の接近を意味す。之に反して忌はしき官民衝突の幾を見るが如きは、治者被治者兩者間の意志疏通せられず其距離の極端に阻隔せられし時にあるは吾人の辨を須たず。然るに何事ぞ、近時我半島の統治府官憲等は叨りに民人を無視し、开が結果として、官民意志の阻隔を來すに至る豈嘆ずべきの事ならずや。見よ、半島在住内地人の多數は、總督政治開始前より來つて、具さに辛酸を嘗め盡し、我殖民政策の先驅者となり、我國威を大陸に輝かすべく促進せしめたるものなり然り、殖民上に就ては實際的經驗より打算し、確かに統治當局者に對して先覺者の地位に立てり。故を以て統治當局者は此等先覺者と接近し、之に由つて治道の妙諦を保つことを忘る可からず。況んや此等先覺者の機關となり、或は統治者の補助者となり、半島の紹介、半島の開發の爲めに全力を傾注しつゝある新聞記者に對しては取分け交情を渥ふし置くこと、官民の政治關係を密着せしむる楔子たるに於てをや。而るに今や統治者の爲す所往々之に反し、爲めに統監政治時代のそれに比し、官民間の交情密ならず、治者被治者の阻隔甚だしきものあるを認めしむるに至れり。これ洵に半島統治上悲しむべき惡現象と言はざるを得ざるなり。而して官民阻隔の實例悉く茲に披瀝せずとも、現に近く鐵道局が大田連山間開通式に民間新聞記者を招待せざりしが如き最も顯著なる一例なり彼鐵道當局者は曾て新聞記者が一齊に三南京元兩鐵道の急設必要を鼓吹し終に母國の輿論を之に一致せしめし功績を沒して傲慢にも非常識にも操觚者を無視せり。單に記者團のみならず、心ある者誰か鐵道當局者の無禮を見て憤慨せざる者あらんや。更に之よりも甚だしく一般人民を踏付けたるものあり何ぞや京城を起點とせる京元線の一部開通式に鐵道活用上至大の關係を有せる起點地京城の民長及び商議代表者等を招待せずして、總督始め官吏のみを招き、官吏連のみを以て式を擧げたる事これなり。由是觀之も、半島の官憲が人民或は操觚者を無視して顧みざるは最早蔽ふ可からざるものとはなれり。斯る顯著なる人民無視の惡弊の具はれるにも不拘、之を戒飭することなけんか。非常識なる俗吏輩中には倍々此弊を助長して底止する所なきと共に人民の反感は愈々大となり、終には新領土經營上極めて大なる累を釀すの虞なしとせず。吾人は切に總督府官憲の反省を望んで止まざるなり。

東京電報

▲正金漢口支店引上

横濱二十一日　正金銀行漢口支店は動亂の爲め引上準備中なりしが愈二十日を以て全部引上を了したる旨本店に電報ありたり

▲火藥製造所の詳報

二十一日　午前九時三十分目黑なる陸軍火藥製造所にて休憩時間中乾燥室の火藥製造材料約五千基瓦俄然爆發し同室全部を崩壞し其飛火は破碎室造粒室に及び兩室にありし火藥は同時に爆發したために職工八名即死し六名の重傷者十數名の輕傷者を出せり尚此他にも死傷者あるやも知れず右の報に接したる東京砲兵工廠よりは軍醫正一名軍醫一名看護卒數名急行し尚東京第二衛戍病院より軍醫一名看護卒數名應援の爲め急行せり附近住家は其の音響の激烈なりし爲め戸障子倒れ壁等に龜裂を生したるが現場の慘憺たる光景名狀すべからず

▲海陸兵退却す

二十一日　海軍省着電在蕪湖軍艦秋津洲艦發電によれば漢口に於ける官軍は海陸軍共下流の方向に向つて退去せるものゝ如し

▲電信全部不通？

二十日午後二時漢口發二十一日着電に依れば昨夜（十九日夜）漢口附近に大火あり當地は約一哩に亘る間電線全部破壞され爲めに漢口より北京及上海其他各方面よりの電報は悉く杜絶し到底現狀恢復の望なく當地よりの電信不通のため戰報未だ來らず漢口を距る約四十哩の地點に於て革命軍と官軍との間に斷乎たる決戰開始せらるべく各軍團員の模樣なりと察さる

▲孝感縣の激戰

二十一日　或る信ずべき筋に達したる電報に據れば廿日午前十時孝感縣驛附近に於て激戰開始あり兩軍の死傷者は尚ほ不明なり官軍の陣地は雲夢方面にあり

▲第二艦隊集合

第二艦隊所屬日進春日及出雲の三艦は二十四日までに佐世保に回航し同港に於て萬一に備ふる由

▲國際通信計畫

漢口上海間の電信は全く杜絶し漢口北京間の電信屢々不通の報を告ぐるのみならず北京政府は是尊總ての電線を軍事に專用せんとするあり列國官憲に在りては此際嚴正中立に依る國際電信局を設置し動亂に關する通信を完備せしむべく專ら準備中なり

▲清國の借欵申込

清國政府に軍資金として二百五十万兩を横濱正金銀行を經て我國に借欵を申込み正金より政府當局者に商議したるが外務、大藏、日銀當局者間に於て種々密議を凝す處あり正金銀行は大体に於て是に應ずる意向なきにあらざるも此際我國の態度は列國の注意する處なるを以て暫く形勢を觀望し適宜の處置を採る筈なりと云ふ

▲英獨間に伊土仲裁

羅馬駐劄英獨國大使は伊土戰爭終了の目的を以て伊國外相ジュリアノ公と會談せり

▲司令官の公報

川島司令官二十日發電に曰く革命軍は廿日正午江岸停車場の官軍に向ひ歩兵三千野砲八門にて攻擊を開始し艦隊小數にて砲彈を送り下江す官兵は下流に退り革命軍は停車場を占領し騎兵一隊砲四門歩兵若干にて官軍を追はんとせり

雜報

●臺鮮米代用認可

農商務省にては端境期に限り米價の調節を圖り需給の均衡を得せしむる爲め台灣米朝鮮米の代用を認可する方針を決定し各地方長官に內訓する所ありて其後米穀取引所は來年度の格附表改正を機とし端境期に限り時宜に依り臺灣米朝鮮米を受渡に代用することを得る事の一項を追加申請し來りたるを以て主務省にては直ちに認可の指令を與へたり

●京義線一部變更計畫

現在龍山より分岐せる京義線は同地附近に非常の勾配あり且つ貨物其他運搬上不便尠なからざるを以て西大門より水色に到る新線路を布設すべく目下調查中なりと云ふ

●寺內總督歸京

二十一日連山停車場に於ける湖南線一部の開通式に臨場したる寺內總督は式後外波少將宇佐美內務部長官中山大佐藤田副官村井憲兵大尉藤波通譯官を從ひて論山江景群山を巡視し同日午後九時警備船鼠海丸に乘りて出船し稅關の小蒸汽船櫻井丸水先案內して二十二日午前十一時四十五分仁川着十二時發の臨時列車にて無事歸京したり

●英大使の入京

東京駐在英國大使マグドナルド氏の一行は二十三日夜十時二十分南大門驛着列車にて入京ソンタクホテルに投宿の筈なるが當地滯在は兩三日の豫定なりと

●總督邸の夜會

寺內總督は二十五日午後七時より英國大使マグドナルド氏同夫人令孃を主賓とし在京城各國領事其他三十餘名を招き晩餐會を開き次て同九時より夜會を開催すべき筈なるが夜會參列者は約百三十名の豫定なりと

●內地鑛業家と朝鮮

今夏以來內地の大鑛業家は各々其技師の一行を來鮮せしめて朝鮮の鑛業に關し實地を親しく調査せしめ當局の鑛床調査と相待ちて有望なる者を發見せば着手せんとの計畫なりしが今回何れも調査の結果により藤田組は平安北道熙川を村井吉兵衛氏は同じく昌城を古川組と淺野總一郎氏は同じく甑城を出願する事に決定したるが右の內甑城郡に於ける鑛區は淺野氏と古川組と競願の有樣なるを以て多分淺野氏が古川組に讓與する事となるべしと云ふ而して右三鑛山は何れも金產地なれば前記有力なる鑛業家は經營を開始するに至らば朝鮮の鑛業界も大に發展すべしとの事なり

●鮮人海員養成計畫

朝鮮人を海員に使用すべく簡易なる養成機關を設くるの必要あり財政顧問時代に軍艦揭武號として其機關に充てしも爾來廢滅して現在にては何等の方法なきも早晚其必要を生ずべきを以て當局にては豫算の許す場合には何等かの設備をなさん計畫なりと云ふ尤も內地人の海員養成機關として目下釜山に海事研究會なるものを設立しあり今後船舶職員の規程等發布さるゝあらば鮮人の海員出願者を必ず生ずるならんと云ふ

●滿鮮柞蠶の比較

朝鮮產柞蠶、滿州產柞蠶との品質の比較に就き某專門家は曰く蠶繭の價格は其良好なる糸量の多寡に依りて定まるものにして其の糸量の多寡は一に解舒の良否に座す滿州產は柞樹の概して老齡なると氣溫の朝鮮よりも低きが故に蛹自身防寒護衛上多量の樹脂を食用し從て外層に多量の樹脂及膠質を含有するを以て糸纖硬く解舒良好ならず朝鮮產は之に反して樹脂及び膠質等の夾雜物少なきを以て解舒の良好なるを認め糸質滿州產に劣らず而して當業者は鮮繭は色澤共に良好なるも糸纖軟かく從て糸量少く滿繭は色澤は鮮繭に劣るも糸質硬く從て糸量多しと評し居れり

●鴨綠江鐵橋通行規則

既報の如く鴨綠江鉄橋は來月一日より開通するを以て其筋に於て同橋の通行規則（人道車道）を制定し不日發表の筈なり

●中清動亂と交戰團体

…秋山法學博士談…

中清革命軍は國際法上の交戰團體たる事を認められんとして頻りに列強に聲明しつゝありと雖も列國が是を交戰團体と認む可きや否やは全く其自由に屬し若し戰局にして永引かば勢ひ自他の便宜上之を認むる事とならんも國交上輕卒に斷ず可からざるは勿論なり、由來國際法上の慣例として組織立てる政府、秩序ある軍隊及利害關係の錯綜の三者具備する時は之を認むる事を得可し、而して其機會は兵器彈藥を積みたる船に臨檢搜查を爲すが如き場合に當て之を海賊行爲と爲すは穩當を缺きて自然國際法に據るものと見做し叛軍を交戰團体とするの巳むなきに至るべし先年米國南北戰爭に際し英國が南軍を交戰團体と認めたるを抗議したるに對し英國が北軍が南部港灣の封鎖を宣言したるは戰時國際法に據るもの故南軍の交戰團体なるは自ら證明する處なりと答辯し此答辯は國際法上の慣例を爲せるが故に這般の動亂も種々利害の錯雜するに連れ事實上交戰團体と認むる事とならんか、而して此等利害關係は重に貿易より來り從つて日英獨米などが眞先に此問題の逢着する事となるべし、故に政府に於ても事實上の問題の到來する迄は外交政策として嚴正不偏を期せざれば淸國政府又は革命軍より無用の憎惡を受くるなしとせずと云々

●京城輸移出入品狀態

九月中に於ける京城稅關出張所の調査になる輸移出入貨物は輸移出にあつては八月に比し牛皮十六圓其の他の諸品千六百五十八圓合計千六百七十四圓の增加を示し輸移入にあつては晒金巾の六万六百六十六圓甘本木綿の一萬九千三百五十六圓毛織物の一萬四千六百三十圓絹布の一萬九百四十七圓等を重もなるものとして著しき增加を見但し小麥粉に於て一萬七千三百八十圓麥酒及び黑麥酒に於て二千五百六圓及び其の他の諸品に於て一萬千七百十八圓の減少を見たるも要するに合計に於て十五萬七千七百三十圓の輸移入を增したりと云ふ

●李王妃の山縣夫人招待

李王妃殿下には山縣政務總監夫人が廿四日出發東上の由を聞召され二十一日同夫人兒玉伯爵夫人と午餐を共にせられたり

●スター氏入京

平北南北道附近旅行中なりし米國シカゴ大學教授スター氏は二十二日夜入京ソンタクホテルに投せり

●豊永博士入京

水原勸業模範場技師豊永農學博士は事務打合の爲め本日入京したり

●衛生組合聯合會

當地衛生組合秋期連合大會は二十日午後六時より花月樓に於て開催せらる當夜組長及び組員にして出席せる者四十名餘來賓としては今村南部署長古城民長及び京日京新兩新聞の代表者出席したるが始めに小林藤右衛門氏釘本副會長に代つて報告及び挨拶を爲し次に今村署長來賓を代表して答辭を述べ後ち古城民長の希望演說あり終つて酒宴に移り散會したるは十時なりし

●水產課の漁業免許協議會

水產課にては過般南鮮地方へ出張中なりし各技師等夫れ〳〵歸任せしを以て漁業免許上に付き目下日々協議會を開催しつゝありと云ふ

●京城通信の三週年祝

宇都宮高三郎氏主幹の京城通信は本月を以て三週年に達したるを以て來る二十九日京城ホテルに官民數百名を招待し盛なる祝賀會を擧行する由

●電燈料の引下

京龍電燈料引下問題に就ては爾來會社にあつては勿論監督官廳に於ても充分調查をなし既に會社にては過日案を具して東京の本店に廻送し本店にては重役會議を開き近々の中回答を發する筈なるが一方會社にては先般監督官廳と內相談を遂げ双方の意見も一致したるを以て本店よりの回答次第引下實行を斷行すべし而くて引下價格は十燭光に於て一圓四十錢（現今は一圓五十錢）十六燭光に於て一圓八十錢（現今は二圓二十五錢）他は之れに準ずるが蓋し會社に取つては多大の費用を拋つて買收後日尚淺く而已ならず內地に比して動力の費用の著しく其の他種々の事情あるに拘はらず如斯價格の下に引下を行ふは一に市民の要求と便宜とを滿さんが爲めに外ならず尚今回の引下につき內地の例を引くものあれど這は働力の費用に於て比較にはならず東京、大坂、京都の如き水力に於て發電する地方はいずもかな水力電氣に非ざる博多の如きは一噸の石炭三圓餘にして之を會社に於て購買する六圓餘に比すれば正に倍額の差あり又釜山、仁川等に比するもあるも釜山は些の割引なく仁川は石炭の運搬其の他物價低廉の點に於て之れ又京城とは比較にならじ而して釜山は十六燭光にて一圓九十錢仁川は京城と同じく二圓二十五錢なるも會社に於ては昨年四月より定數により使用の數に應じて官衙は二割乃至三割普通の點火者は平均一割の割引を行ひ即ち官衙にあつては十六燭光一圓六十錢乃至七十錢に普通の點火者にあつては一圓九十錢餘に該當し居れり而も割引實行の際に於ける東京の料金は一圓七十錢なるが要するに這回の引下は會社に取つては充分勉強のつもりなりと當事者の一人は語れり

●麻布の製織改良

忠淸北道にては麻布の製織改良に熱心し此頃成績頗る見るべきもありと云ふ

●仁川商議役員會

仁川商業會議所にては二十三日午後七時より倶樂部樓上に於て役員會開催明治四十五年度豫算中借入金に關する協議を爲す由なり

●工業製品陳列會

廿二日朝鮮總督府工業傳習所に開催されたる同所生徒製作品陳列會は日鮮人の參觀者頗る多數にして午後二時に至り賣品の全部は殆んど賣切の盛況を呈せり因に同日は寺內總督を始め官民重なる人々の參觀もありたり

●仁川の家禽病豫防

仁川家禽協會にては近來家禽病の折々發見せらるゝより之れが病原及豫防法等の研究上矢野獸醫の診斷を乞ひ家禽虎列拉と決せしに付二十一日農務課の原島善之助氏を聘し民團樓上に於て豫防の講話を開きたり

●三陟沿岸施鮑と海鼠

江原道三陟郡にて四月以來鮑又は海鼠漁獲に從事中の石本組外五組の漁團は本月を以て事業を中止內地に引上げたり

●鮑罐詰と海鼠乾燥

前記石本組等が漁獲せし鮑は罐詰として長崎に輸出し海鼠は乾燥して釜山に搬出し其價格一萬二千圓に上れりと

●北鮮の生牛輸出

北鮮より浦汐地方へ生牛輸出甚く目下價格騰貴して昨年一頭十七八圓のもの二十六七圓を唱へをれり

●稷山金鑛經營變更

稷山金鑛經營變更は愈々確定し今回資本金二百萬圓の會社となし先つ五拾萬圓を出金する事とし凡べて米國の會社法により設立したる由なるが從來澁澤榮一、淺野總一郎の兩氏が全權利の約四分の一だけ持續し來りしものを今回其儘に繼承し澁澤氏は八十島氏を淺野氏は白石氏を各代表者として自己の名義を脫したるを以て會社は取締役として仁川のタウンセンド、デシュラー、テーラー及横濱の某外人の五名と前記八十島、白石兩氏及前原讓太郎の三氏合計八名とし テーラー氏專務取締として今後の經營に任ずる筈なりと云ふ

●鮮銀券發行高週報

朝鮮銀行の十月十五日より二十一日に至る鮮銀券發行高左の如し

總發行平均高	二五、二〇〇、〇九四
內 正貨準備平均高	九、三〇六、七〇四
保證準備平均高	一五、八九三、三九〇

公人私人

▲淺芳藏（辯護士）二十一日出發釜山へ
△村上唯吉（平壤控訴院書記長）同
▲萩谷壽夫（朝鮮新聞社長）同太田へ
▲矢野久三郎（鎭南浦稅關長）同鎭南浦
▲福地信世（工學士）廿二日出發釜山へ
▲佐々木敏岡（辯護士）同
▲尾間明（國民新聞理事）同釜山へ
▲高柳有美（扶桑新聞記者）同平壤へ
▲安川和三郎（慶尙農銀支配人）二十一日投宿不知火
▲岩崎虎次郎（全州農銀支配人）同
▲兒島元三郎（漢城師範學校教授）二十二日投宿たかさご
▲川北榮夫（工學士）同天眞樓

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
十月廿三日	一九二、二八一、五九〇	六二三

▲治外法權▼

清國動亂に就ての記事掲載に關し其筋から下された訓達はゴ尤と思ふ、ダカラ本紙は今迄もソウだが今後は尚更ら掲載記事に注意をしよう、兎角國交は別問題だからね▲トワ云ひ動亂が續いて居る以上、而も該動亂が支那民族延いては東亞の平和に大關係を有する以上、極めて公平な見地から討伐軍及び叛軍の動靜を報道し、偖ソンナ事もあつたのかなぞと後で笑を受けぬ樣にせねばならぬが、考へれば考へる程新聞を書くのは六ケしいものだ▲來る二十六日故伊藤公薨去二週年の當日に、谷垂の墓地に祭典があるのは勿論だが、神戶の有志者は安養寺公園に於て公の銅像除幕式を行ひ、盛なる祭典を擧行し、亦た大連に於ても滿鐵が發起となり官民合同で盛大な二週年祭を擧行するソウナ▲サテ右の次第で見ると故公に緣故最も深かりし我京城ばかりがダマツテ居るのも何だかオカシナ譯だ、佛式では三周年だの、神式では二周年だのと、冷淡なゴ挨拶は聞きたくないね▲二十二日記者は工業傳習所へ行つて見たが中々盛大なもので、午後二時頃には一万餘點の賣品が殘らず賣切れて仕舞つた▲思ふに總督府のヤツて居る仕事で實際鮮人のタメになつて居るのは此工業傳習所と數ふべきものだ▲來る天長節に本社の主催で擧行さるゝ神田祭式手古舞行列は、江戶時代の產物であつて、極めて花やかで、極めて雄壯なものだ。



チャンピオン傳（十一）

高等法院判事平山鈴太郎氏長女

平山孝子

孝子さんは明治二十七年生れで本年正に十八才である、本年三月二十日官立高等女學校を最優等を以て卒業せられ、其卒業證書授與式の場に於て全校の卒業生を代表して朗讀された答辭（三月二十六日頃の本紙に載せたり）は實に堂々たるものであつたが併かも下書きされたる時間は僅に三十分間であつたと云ふ、**能文にして達筆**、既に多く得易からざる才媛である、才媛多くは衒氣に富み才を恃み氣を負ひて人も無げに振舞ふが多いものだが孝子さんには夫れが微塵もない他に對して誠に圓滿で毫も鋒鋩を現はさない、と申すと引込思案の内氣一方の娘さんの樣であるが決して然らず誠にハキハキした方である、**道樂は何事に依らず他人の面倒を見たり世話をすることが大好き**だ、一寸した買物の友達でも「下駄のハナ緒が切れて困つたワ」なんて言つて居ると「此方へ出しなさいよスグく上げましよう」と云ふ内にモウ袂からは布帛が出て居ると云ふ調子だ、退校時なぞ年下の讓ちやんなぞが「傘が見えないワ」「れ辨當箱が」なんて云つて居るのを決して聞き迎さない「此でしよう、貴女のは此れでしよう」と面倒の中から生れて來たかと思はれる程に面倒な事を處置するに妙を得て居る要するに頭腦の明敏なるが爲めであらう、叙述すると如き爲人であるから在校中は級長の世話係に推されて平山さんくと重寶がられて御座つたのだ面倒を見る世話係なる名譽職を拜命就職されて爲に一層万事を處置し面倒を見ることが明快になつたと云ふ本來ならば世話のチャンピオンとして紹介すべきであるが世話好なぞ云ふと老人染みてハイカラチイから殘念ながら此の方は觀念して大に優美な方面即ち

女流素人畫家のチャンピオンとして推選した孝子

さんの能文にして能筆の事は前に述ぶる通りであるが繪畫に至りては其丈其書以下でなく、跡見玉枝女史の畫法を學んで就中花鳥に妙である　敢て丹青の技によりて一家を成さんとするのではあるまいが目下も家庭に有りて繪畫と習字とに專念だ號を玉英と云ひ

令妹の慰子

さんは又姉さま同樣繪畫に深き趣味を有して時に合作を試みらる雜誌「婦人畫報」十月號には小照と其**合作の「小松に双鶴」**の寫眞版を載せて居る、嫁に婿にとの申込みも多いがモウ一二年は家事を見習はねば一家の主婦として立つ事が六箇敷いと云ふ御意見から悉く好意を謝して一切の縁談は斷られつゝあるとかだが世話好きの天才は人の母となられた日に於て益々光輝を發することであらう（終）

●不人情な鄭晒朝

▽右女助の逆戻り

モウ書くのも厭になつた程なれば讀みになるのも厭であらうから掲載するのは見合せる事にした事件の荒筋を話しすると斯うで御座る、彼の鄭翠樓の右女助が日本人化したる鄭丙朝さんに落籍される筈で當人は大丸髷に澄し返り鄭翠では大きな聲では申されませんが不相當に貸のある同人が千百何十圓で賣れようと云ふのだから欣喜雀躍して不景氣だくと云つても流石は朝鮮だマダく甘味い客があると咽喉を鳴らし寒泉室では赤飯の注文を今かくと待ち構へて居たのは先刻御承知通りの始末なるか智島問題五六日中に解決する故直樣現金取引すべしとて鄭さんは木浦海岸通の自宅に歸つたまゝ五日は扨置き十日經つても二十日經つても穢多村へ猫を追込んだと同樣ニヤンの音沙汰も無いのに少々鈍い右女助も「ハテ不思議?」と首を傾げる事もあつたが直ぐ其下から自惚と云ふ性の惡い虫が頭を擡げて「併し彼樣に妾にナンしてるのだから」と打消すので安心して丸髷を振り立てゝ芝居見物、寄席、遊山と又々十日餘りも經つたが痕んだものが潰れたとも云つて來ないので右女助よりは樓主の方が氣が氣でなやないので右女助をセビり立てゝ手紙と電報で鄭さんに催促するが何の返事もなきに右女助も今まで誰彼れに吹聽した世間の手前があるので若し此儘に流れとなる事あつてはと心ならず手紙や電報では埒開かずと自身出馬する事に一決して現金受取役として仲居頭のれ花を附き添はせ一金一千百何十圓也の受領證を携帶せしめ右女助の衣裳、新調費七十何圓は餞別心で鄭翠樓にて受持ち右女助の身體を一千百何十圓と引換へるべく木浦へ向け出發せしめたるが本月六日午前九時南大門驛まで朋輩藝妓や仲居とも見送らせて（つゞく）

●富枝、落籍、横領

▽被害者の告訴取下

新町遊廓第一樓本店娼妓富枝事奥口とみ（二三）が山口縣萩の石炭商山根淺次郎に義理立して頭髮を切りし事は既報の如くなるが山根の方でも捨て置けず早速前借金六百圓を支拂ひ落籍して明治町一丁目林伊三郎方に預けたるが山根自分は病氣にて旭町一丁目鈴木外科醫院に入院せし由なるが富枝は第一樓内にて朋輩なりし林コマ所有の金指輪を借り受け之を入質し外二名よりも衣類を借受け入質し又遠山小間物店より五十餘圓の小間物を借受け其の儘にして第一樓を出でたるより被害者は連名にて横領罪の告訴を提起せし事とて南部署の諸刑事彼れの所在を捜査し居たるが前記林方に居住せる事判明し二十二日夜本署に同行留置し二十三日取調終了と同時に被害者の告訴取下に因り放免せられしが龍鍾として引取りたる態哀れなりき

●驅落男女のうどん屋

▽女房を棄てゝ仁川へ

仁川停車場前に萬直しと云ふ軒提灯を吊せる温飩屋の若夫婦の交情睦しく何日もながら嬉々として居る態は總角黨の羨ましがるも無理ならぬ程に近頃附近の評判となりたるより探つて見れば此の若夫婦は原籍滋賀縣愛知郡稻村大字石寺七番地農商戸主泰次郎の弟西川總矢（二五）同縣酒田郡日撫村高濤夏原大巖妹まる（二四）の二人にて總矢は郷里に數千圓の地所家屋を所有し盛んに蠶業を營み本年の春は製絲業を開始したる故前記のまさも絲取りに雇はれたるがまさは一寸澁皮の剝けた小綺麗な女にて自分の妻よりは遙か別嬪なるより何日しかまさに想ひの丈をクドくと述べたる上互に乙な交情となり妻子の手前も憚りなく痴話狂ふと云ふ始末に親兄弟の強意見も空吹風と聞流し居たるも遂に餘りの五月蠅さに總矢は人知れず自己所有の土地家屋を抵當に借金しまさと手に手を取て去九月の末仁川に來り菊屋旅館に宿り居る内今の萬直しの店が讓り物と聞て早速引受け二人は水も洩さず暮し居るなりとか去るにても國元に置去られし妻子は哀れ朝鮮の空を仰で怨んで居るならん

●支局長の恐喝事件

▽井出三郎氏に對する

元滿韓日報京城支局長吉田儀太郎が民團議員井出三郎氏を恐喝したる事件は來る二十七日午前九時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長の係り長尾檢事立會の下に公判開廷せらる可く辯護人としては高橋皆川兩辯護士出廷す可しと

●娼妓の無斷外出　原籍福岡縣八女郡岡山村大字賓上番戸不詳勘太郎次女當時龍山桃山町七十番戸清水周藏方第二種藝妓小文字事上野ヤセ（二三）は二十三日午前十一時手續きをなさず榮町邊へ外出したる處を認められ告發せられ藝妓取締規則により龍山署にて科料金五十錢に處せらる

●強盜首魁捕はる　去月以來京城龍山間に於て鮮人の四人組強盜あり所々荒し廻りたるより其筋の捜査嚴重にて其の中の二人は已に龍山署の手にて捕縛せられ餘黨嚴探中なりしが同組の主魁李福男（二〇）は二十二日仁川新昌洞に潛伏し居たるを仁川署の小池刑事發見し難なく逮捕し目下取調中

●七名珠數繋ぎ　廣島縣平民當時相生町十六番戸左官職中尾久太郎（二八）妻すて（二四）同居今井文次（十七）平岩利一（十八）中尾信一（十九）結城常一（十九）同縣人當時米倉町居住志和柳兵衛（四〇）の七名は二十二日夜賭博の現場を南部署に檢擧され取調中

社告

天長節奉祝の爲め本社主催の下に擧行さる可き京城藝妓總出の神田祭式手古舞行列に關する詳細は次號に於て發表仕候

十月　京城新報社

●東京から南部署へ　福島縣田村郡中郷村當時住所不定新田丑吉（二三）は本月二日東京日本橋區小傳馬町張物業前田三吉方へ雇れ中銀行小切手四十五圓を拐帶して逃走し京城に來りしが南部署の手に捕れ取調中

●恐喝事件の判決　田中留次郎秋山喜之助の兩名共謀して韓國製紙會社建築工事に關し請負人村田九一郎を恐喝したる事件は二十三日京城地方裁判所に於て田中は懲役一ヶ年に秋山は懲役八ヶ月に處せらる

●蝎甫の檢擧　南部會賢坊司畜洞金愛可（十四）南部養生坊太平洞李菊花（十三）會賢坊石井洞秋菊香（十三）は無鑑札にて蝎甫に從事せしを告發され秋菊香は過料金六圓李菊花は五圓金愛可は一圓即決

●厄介な行路病者　神奈川縣人三宅貞雄（二〇）は行路病舍收容所に收容され居る内患者某を蹴飛ばしたる事件にて告訴され傷害犯として檢事局に送らる

●大桝屋の新妓　長野縣上伊那郡中箕輪村生れ鬮ふじ（二一）はすいたと廣島縣廣島市新川場町木村はつ（二三）は福次と山口縣玖珂郡師木野村岩本みつ（二三）は龍子と福岡縣遠賀郡八幡町柴田かね（二〇）はいと名乘り新町遊廓大桝屋より現はれたるが何れも美形にして殊にすいたに福次は是迄福岡の博多中客番にて左褄取り居たる藝妓にて頗る辣腕家也

●演藝だより

▲壽座　好人氣なる後藤一座二十三、四兩日の藝題は既報の如く「嫁が淵」なるが同劇は曾つて福井茂兵衛を補助としたる伊藤文夫一行が演せんとしたるも何分大道具の不完全なりし爲め止むなく中止したる程のものにて今此一座が右を上場するに就ては數日以前より大道具の新調に苦心し居たるなりと云へば此こそ最も見物なるべし猶本水使用一同大車輪にて演ずる由なり因に東西烟草會社の無料觀劇券附烟草は同座前に賣店を設け居れば極めて都合好しとぞ

▲歌舞伎座　片岡鶴之助の浪花節芝居二十四、二十五兩日の代り藝題は元和三勇士「戸田新八」二十五場續き切狂言「義士銘々傳」二場なりと

▲浪花館　二十四日の代番組左の如し　深山かくれ（技輔）マン病院（圓松）いはひや（小圓）大神樂山藝（福樂）高尾（圓三）戰地演藝音曲（芝鶴）娘奇術（喜代子）辻うら茶屋（福圓）切喜劇總出

平民文庫

▲京城日報は大改革の序幕を出した即ち從來の編輯長川島白眼子を專務理事心得に任じ營業局長に補し並川不動子を編輯長に任じ理事に轉補し山内論說部長を理事に補した相だが茲に不思議は創立以來唯一の古參者奥田君及前社會部長上田白川君の如きが榮職に就かない一事である凡庸なるが爲めか又は進路を壅塞するものあるが爲めか开は兎に角川島氏の營業局長は眞に適材を適所に得たものである小僧君以て如何とす（立聞生）▲門外漢だ（小僧）▲二十二日龍山に行つた歸途電車に乘つて元町三丁目に差蒐つた時其所からドヤドヤと乘車したのは電氣會社の社員で八字髭の三人揃れ孰れも酒氣を帶びて居る▲ト其内の一人運轉手臺に出で「ヨボ一寸俺にヤラセロ」と代つて運轉を開始した伴の二人は危險だよくを連發してるが止めない電車は全速力を以て馳走する乘客一同ハラくして手に汗を握つたが併し案ずるより產が安い何事もなかつた▲傍人僕に耳語いて曰く「龍山では電車の事故が多いので困りますアレですものね」と、僕は默つて居た▲車掌及運轉手の番號掛札向つて右三十八號、左二十七號（風呂子）▲近來日鮮人で賭博をなし罰金若くは懲役に處せられたもの〻新聞記事日として載せざるはないが實に京城南部長橋通り某は今夏以來一度ならず賭博の現行を取り押へられながら懲りもせず此頃は亦々夜晝の別なく賭博を開設して居るが此記事を見て改むれば姓名丈は勘辨してやるが横着にも改心せざる時は住所と姓名を素破拔くぞ（世話燒生）▲去る十一日京城蓬萊町一丁目一番戸ノ五時綱俊氏長女十五才のヒサ子孃死亡に付本町九丁目八尋山谷口敎正氏を齋主として純神道式神葬祭を擧行したり（當日會葬生）▲十九日正午十二時頃西部白駒町より岩洞へ通路の際狹小なる裏通路の軒下に糞桶を陳列して馬車に積まんとす數多の通行人は行く事出來ず糞にて通行止めとは近頃可笑しき事ではないか衛生巡査は居らざるか往來の交通機關に妨害せぬ樣今後は乾度注意して衛生巡査の責任を全ふせられたし（通掛生）▲市内〇町の高い下宿屋に竊盜が居るので不在中物品が紛失するので困るとの投書は輕々敷ことならず沒とす（係）

勸業貯蓄債券賣買の好機
現物問屋
京城南山町三丁目
曾野峻輔商店
電話一四〇九番

廣告

一鴨綠江原木安賣
御望に依り製材の御注文に可應候
但注文の節は京城黄金町明金湯（電話一四九九番）阿部へ御用命被下候へば早速御相談に應出すべく候
安東縣四番通六丁目
製材所　實崎万作

長崎流
志るこ
茶碗むし
むしすし
南山町三丁目
松その
電話一一八五

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話一三一五番

改築擴張廣告

弊店明治四十年開業以來專ら廉價懇切敏活を以て業務に精勵致居候處幸に各位の御厚庇により事業の發展と基礎の堅實とを得候段偏に感謝致處に御座候就ては從來の店舖は狹隘に付兼て隣家改築中の處此程愈々落成仕候間此際大擴張を爲し文明的文房具諸機械等を輸入し特別廉價を以て販賣致候間倍舊御愛顧を垂れ給らん事を謹て奉懇願候敬白

壹　文房具類
貳　測量諸機械
參　教育諸機械
四　和洋紙帳簿
五　尺度類　大日本政府檢定附移入販賣所

京城本町一丁目（郵便局前角）
シノサキ本店
電話長六四八番
電話七〇五番
振替京城一五四番

京城本町一丁目（郵便局前角）
シノサキ支店
電話一三〇三番

京城大和町
シノサキ支店
電話長三四一番

改築擴張廣告

最上山十印醬油
釀造元 千葉縣銚子町 岩崎重次郎
發賣元 京城本町壹丁目 三巳商會 電話七五三番

確實屋の大賣出し
綿類蒲團は元より呉服部大擴張の御披露として
自十月十九日至十月廿七日 九日間
例の通抽籤にて二割引より色々
店の一本も空籤なしの御高評是非共御來山まゆ綿全部品揃當時大高價の蒲團綿も同樣大割引の大奮發で御座います
京城明治町一丁目 唐川呉服店 (電話二六一番)

東京櫻組
定價表 型錄 寸法用紙 御申越次第呈送仕候
合資會社 櫻組製靴部
東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
電話本局三一六三・三一六四・振替口座東京一六五二七

のねかちまた
羊羹 しるこ
喫茶店
南山町二丁目 橘屋 電話六九三番

特約店
醬油 萬 醬油
●●甘露醬油
の清酢
宇治銘茶
大日本麥酒株式會社
味噌醬油釀造元……諸漬物問屋
日用品一切
和洋酒類、和洋鑵詰
穀物麵類、乾物荒物
野菜果實、薪炭
其他
御贈答用進物品並に商品券調製仕候間御用命の程希上候
陸軍 諸官衙 御用達
大上友太郎商店
京城本町五丁目 電話二百五十一番

觀菊御案內
●十月二十日より開園 ▲入場料五錢
▲ビヤホールの設備仕居候
京城西大門外 金華園

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜產物賣買
家畜飼糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜產業一切
京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)
江華島 荒井第二牧場
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通同所へ御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種多々繁殖致候間御買求願上候

複方吐根散
たんせきの特効藥
賣捌店ハ全國到ル處ノ藥店ニアリ
代理店
京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百〇四番 電話千六十八番
振替口座京城十六番

菊の滿開
●よくきく 仁丹を飲んで滿喫
菊の詩よきく
陶淵明の詩よきく
菊の露は病の毒消し最もよくきく
味も添りよきく
消化のわるい時よきく
食べ過ぎよきく
める酔よきく
二日よいよきく
めまひよきく
▼いつも仁丹飲む肝心
仁丹飲む人德な人
益々大好評
即刻御求めて御使用あれ
朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

火災盜難保險附
高崎製金庫
特別大割引
大放賣
京城南大門通り三丁目 清韓洋行 電話四九四番
振替口座京城四九四番

歐米各國自轉車各種
ヴイクター會社蓄音機械
銀製品各種
各種寫真機械
材料藥品
時計貴金屬製品
御婦人用裝身具
直輸入元
京城本町四丁目 織居本店
時計部 寫眞部 專用電話
振替貯金口座
二丁目 織居自轉車部

名譽銀牌受領
キリンビール
代理店
京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九百四番 千六十八番
振替口座京城十六番

二十世紀の新劑
最良新藥
毎月丸
▲月經をつうじ子宮病を全治す
月經不順
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進ます、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
藥價 一日八錢 半週分廿五錢 一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舗 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支店 東京日本橋厚町 丹平商會支店
賣捌は東京市內其他各店に取次す

かぜねつの最良藥
大阪田口の ヘブリン丸
各藥店にあり・定價・五錢・十錢・十五錢・三十錢
代理店
京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番一〇六八
振替口座京城十六番

大學目藥
かかれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基き貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
發行所 大阪市北濱一丁目 ヘブリン丸元祖 參天堂藥房

◎◉◉
建具製造販賣
襖材料卸賣並ニ襖製造
仕入レ建具類及ビ附屬品各種
箪笥類各種
建具製造 襖材料卸 商
京城南大門外御成町 三好市太郎
電話五九六 振替口座京城二九七番

M.C.C.
土耳古 紙卷煙草
エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

米國代表車
自轉車 銃砲火藥 直輸入商
ピアス
直輸入新荷着
實用堅牢車
京城明治町二丁目(電話三〇二番)
瀧川銃砲店自轉車部

眼科專門
前大韓醫院眼科部長 金井豊七
京城本町六丁目(元軍司令部通り)
金井眼科醫院 電話一五五六番

S.K.S
土耳古 貰
エスケーエス
專賣局定價一號金六圓二號金五圓なれとも朝鮮內は大安賣
特約販賣店 京城辻屋、龍山貴田、木浦冲永、馬山西川、公州中芝、平壤盛昌洋行、鎭南浦宇津木
仁川 オチ商會 電話七三八 (電略チオ)

元祖 パン食
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造小賣商
京城太平町一丁目 相川兄弟商會(電話一一八九番)
釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店(電話二七六番)

●新荷着
酒精アルコール
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)
坂倉支店